



平成25年度

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

地域日本語教育実践プログラムB

**京丹後市国際交流協会**

# 京丹後市

☆平成16年 旧6町が合併



京丹後市



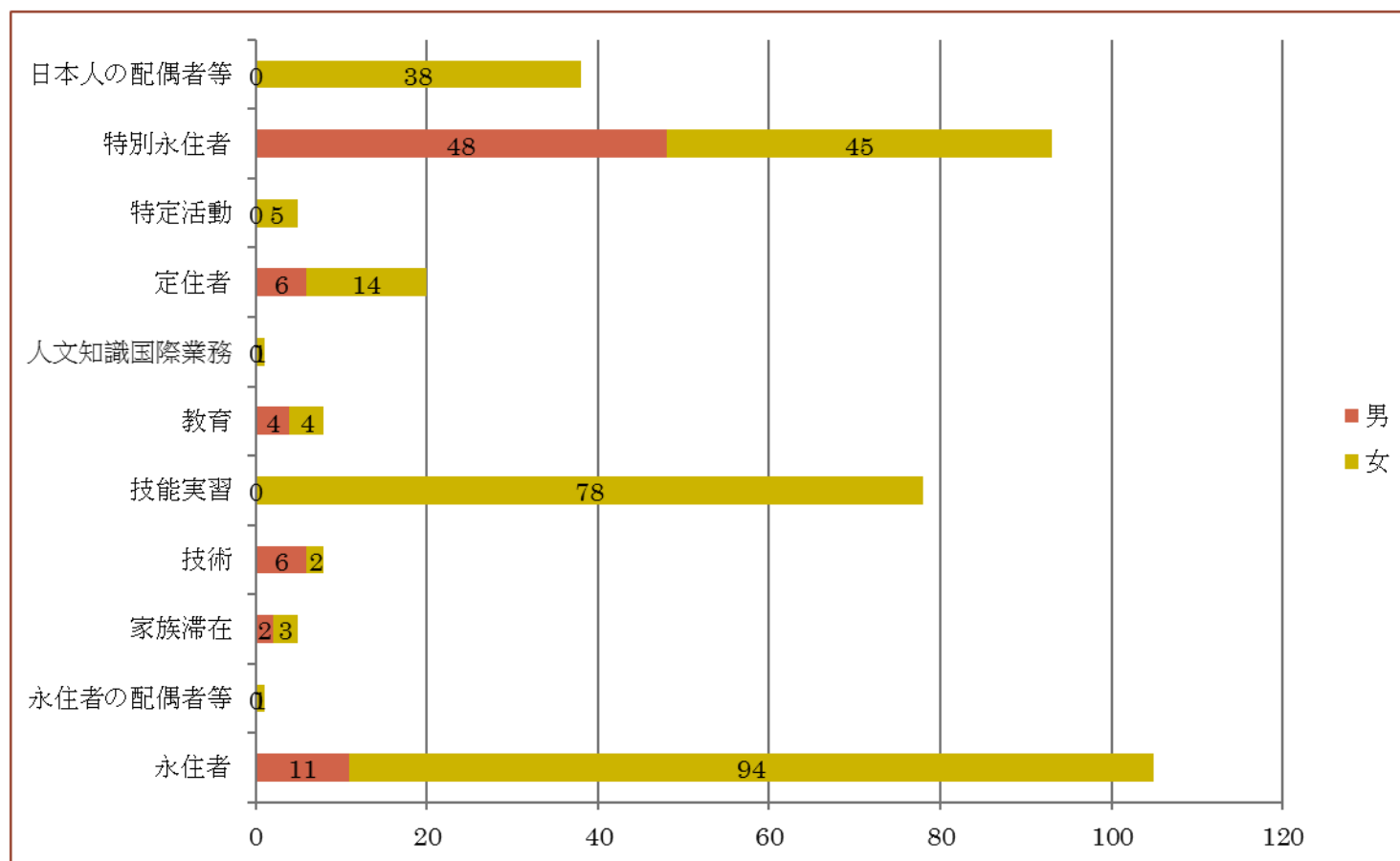
人口=  
約 58,000人

外国籍住民数=  
約 370人



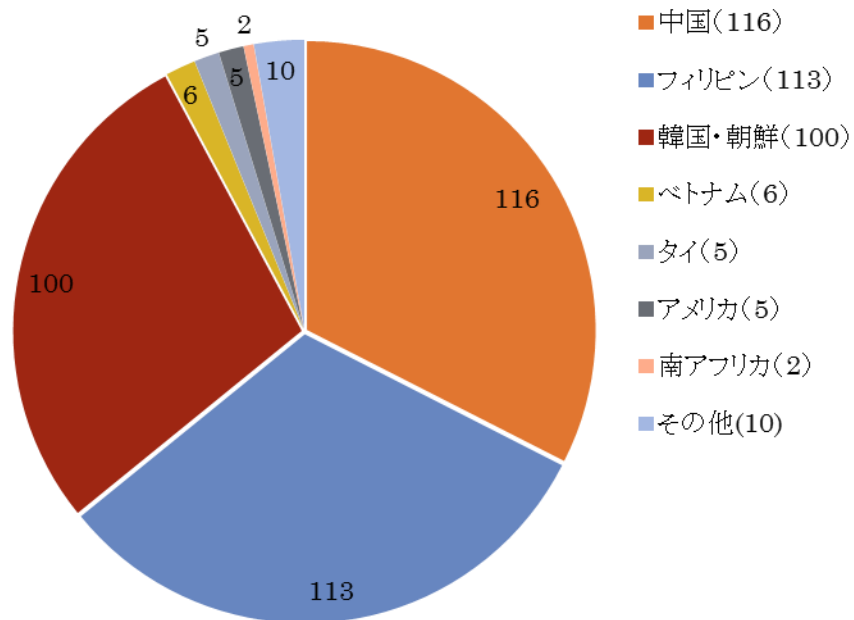
# 京丹後市の在留資格別人数

特徴：日本人の配偶者等、定住者、永住者の多くがフィリピン出身女性



# 京丹後市の外国人状況

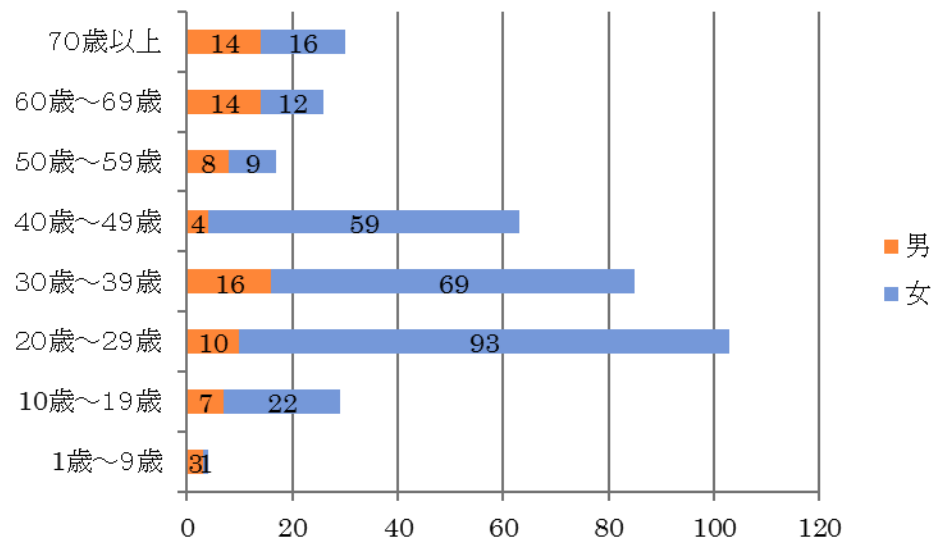
《 国籍別 外国人数 》 平成26年6月1日時点



特徴：中国・フィリピンなど、ニューカマーが多い。近年、ベトナムも増えている。

特徴：女性が多く、その中でも20代、30代、40代が多い。子育て、仕事、家事などが忙しい世代。

《 年代別 外国人数 》



# 京丹後市国際交流協会

★平成20年3月 京丹後市国際交流協会 設立

【所在地】 〒627-8567

京丹後市峰山町杉谷889 (京丹後市企画総務部企画政策課内)

電話番号：0772-69-0120 FAX：0772-69-0901

Eメール：koksai\_koryu@city.kyotango.kyoto.jp

HPアドレス：<http://kia-kyotango.jp/>

事務局：協会職員

会員数：151人(外国籍・・37人)

団体・・5団体

年会費：一口2,000円

(団体：5,000円)

会長：1人

副会長：2人

理事：5人

監事：2人

(理事：中国籍1人・フィリピン籍1人)





# 平成25年度 社会参画にむけた日本語教育事業

## 《 取組 1 》 情報収集・活用のための日本語教室

- 災害等の際に防災行政無線で放送される言葉実際に聞きながら学習
- 防災マップで、学習者は自宅からの避難場所を確認した
- 消防本部の協力のもと、119への通報練習



▲市役所見学。各種窓口の説明を聞く

### 【 取組の目標の達成状況・成果 】

- 取組終了後、個別に聞き取りを行った結果、これまで市広報紙等、行政から届く書類は自分で見ようとしていなかったが、自分に理解できる言葉があるか探すようになったという意見が多かった。
- 自分の住所、家族の名前を日本語で書けるようにすることの必要性を認識された多くの学習者がその後、日本語で住所等を書けるようになった
- 子育て中の学習者も多く、子どもの育児や教育についての情報を自分で知りたいという意見も多かった。



# 平成25年度 社会参画にむけた日本語教育事業

## 《 取組 2 》 日本文化の日本語教室

- 日本文化の種類について学習（華道、書道、茶道）
- 日本の習慣として、毛筆を使って文字を書く場面の学習。また、実際に毛筆を使って文字を書く練習
- 茶道に関する日本語として、「お先に」など日常生活でも使える丁寧な言葉を学習



★自分の名前の  
書く練習

★茶道についての  
学習では、普  
段とは、違う場  
面の設定で、参  
加者は少し緊張  
気味でした。



# 平成25年度 社会参画にむけた日本語教育事業

## 《 取組 2 》 日本文化の日本語教室



- “着物”と“浴衣”について、着る場面の違いや和装でのイスの座り方や立ち方などの所作も学習
- 畳の文化について学習。座布団の意味なども学習

### 【 取組の目標の達成状況・成果 】

- 学習者のほとんどが、筆を使って文字を書くことや茶道体験は初めてだった
- “着物”と“浴衣”の違いについて、言葉だけではなく、着る場面の違いなどについて学習した。
- 日本文化から、日本のマナーを学習し、家庭で活かせる内容だったと感想が寄せられた





# 平成25年度 社会参画にむけた日本語教育事業

## 《 取組 3 》 日本語マナー講座



- 履歴書、面接の語彙について学習
- 面接での服装や動作、マナーについて学習
- 模擬面接体験

【面接の服装】



### 【 取組の目標の達成状況・成果 】

- 毎回講座の際に、ハローワークを始め、市内企業の人事担当者を招き、どんな職種があるのか、企業はどんな人材を採用したいのか、就業のために必要なポイントは何かを受講者へ15分程度で紹介してもらった。実際に、企業の方から話を聞く機会を設けたことで、就業にむけて、学習意欲が向上したという感想が寄せられた。
- 学習者の多くが、日本人と生活を共にしており、冠婚葬祭の場面の遭遇するという人が多いが、これまで教えてくれる人がいなかったという学習者が多かった。
- 模擬面接の学習は、事前に面接の予約を取る電話をかけ、面接会場に入室し面接を受けるという流れも学習。この学習を活かし、アルバイトの面接に挑んだ学習者もいた

# 平成25年度 社会参画にむけた日本語教育事業

## 《 取組 4 》 日本語教室推進委員会

- ・ 学習者の反応や学習理解度についてのまとめ
- ・ 市内企業やハローワークなどとの今後の連携について
- ・ 日本語ボランティアの人材育成と今後の目標について

### 【 取組の目標の達成状況・成果 】

- 会議には行政担当者も加わり、在住外国人が地域の住民として認められるためには、本人の学習努力と行政・企業・地域の理解が必要と共通認識を確認しでき、今後も連携体制の強化に、それぞれができることを進めるとなった。
- 今回は、市広報担当課、消防本部、ハローワーク、市内企業、文化協会関係者などの協力で日本語指導者だけでは、教えることができない専門的な内容を学習に盛り込むことができ、また、この協力を通じて、日本語指導者以外の視点から、学習者に必要となる学習内容の発見に繋がった。

# 日本語教室から目指すこと・・・

出会い

共感

行動

ひとの輪づくり  
まちづくり 地域づくり  
誰もが住みよい 京丹後を目指して

ありがとうございました